

平成28年度 第3回
滋賀県農村振興交付金制度審議会 会議概要

1. 開催日時・場所

平成29年1月17日（火） 午前9時40分～午後2時00分
守山市木浜町公民館

2. 出席委員（五十音順、敬称略）

大塚光子、中村貴子、畑中直樹、藤原正幸、松下京平、森嶋利和

3. 議事等

○現地調査 木浜の資源環境を守る会（守山市木浜町）

※世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策の活動組織である同会から資料1に基づき活動内容の説明を受けた後、現地調査を実施した。

○議事1 「木浜の資源環境を守る会」の取組に対する評価・指導助言

※活動組織から地域の現状・課題説明を受けた後、審議を行った。

【審議概要】

各委員の意見を参考に今後も活動を継続され、多面的機能の維持などにご尽力いただくようお願いした。

委員からの主なアドバイスなどは以下のとおり。

- ・子ども達からこの守山のこの環境を守っていきたいという気持ちを持ってもらうことが大事なので、自然観察会や地域の昔話などのイベントを集落だけでなく学区単位で広げてはどうか。また、大人に対しても、日当が出るから参加するというよりも、この環境を守るという趣旨・根本のところを話して、賛同を広げたほうが持続可能な活動になると思われる。
- ・約1600mの直線の幹線農道は、外部の人間からすると魅力的な場所だと思う。集落の方と農地が関われる取組として、環境学習を兼ねた子ども向けの自転車教室のプログラムなどを、外から来られた方と地域の方が一緒にやってはどうか。
- ・ヨシ等が植栽された浄化型の幹線排水路の草刈に人手が欲しいとのことだが、大人の交流イベントを企画して隣接する新興住宅地の自治会に活動の参加を呼びかけてはどうか。
集落全体で実施されている芝桜の植栽がもう少しで完成するので、新たな取組が必要ではないか。
- ・幹線排水路には集落の宅地排水も流入しているので、排水路の管理についても地域みんなでやっていくという認識を持ってもらえるようにしてはどうか。
- ・農業用水を琵琶湖からポンプで取水しているので、電気代がかかっており、長い

目で見たときにエネルギー面でもなるべくローコストになるような工夫が必要ではないか。

- ・農地だけであれば、大規模農家や集落営農に預ける方向でいいと思うが、浄化池、浄化型排水路、循環かんがいの施設の保全管理を大規模農家だけで行うのは難しいので、活動組織と大規模農家の役割を整理したうえで、両者がしっかりと連携して活動を継続して欲しい。

○議事 2 中間評価の報告書について（世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策）

【審議結果】

資料 2 に基づき審議の結果、案の内容は妥当と認めた。

【審議概要】

（委員）

- ・評価項目の見直しに伴い、全 24 項目の内、1 項目が下がり 4 項目が上がったとのことだが、項目の変更は国が行ったものか。

（事務局）

- ・そうです。

○報告事項 1 交付金の不適切な執行の再発防止について （世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策）

資料 3 により報告

○報告事項 2 中間年評価のスケジュールについて （中山間地域等直接支払交付金）

資料 4 により報告

以上